PAT-NO:

JP402016796A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02016796 A

TITLE:

BENDABLE MULTILAYER CIRCUIT BOARD AND

MANUFACTURE

THEREOF

PUBN-DATE:

January 19, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAMADA, HIDEAKI

INT-CL (IPC): H05K009/00

US-CL-CURRENT: 174/35R

ABSTRACT:

PURPOSE: To acquire a bendable multilayer circuit board which can correspond properly even to products of multiitem and a small quantity by joining an inner layer wiring section which is provided with a ground pattern and a power source pattern to a bendable lamination board whose one side is coated with a conductive foil.

CONSTITUTION: Bendable lamination boards 1, 3 are provided with a proper conductive foil 12, 32 such as copper foil on one side of bendable base materials 11, 31. A standardization inner layer wiring section 2 is provided with a power source pattern 22 and a ground pattern 23 with fixed patterns through etching on the both surfaces of the base material 21 of the lamination boards 1, 3, respectively. The base materials 11, 31 of the lamination boards 1, 3 are laminated and joined to each surface of the wiring section 2. A bendable multilayer circuit board which can correspond properly even to products of multiitem and a small quantity is acquired in this way.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO& Japio

2/20/06, EAST Version: 2.0.3.0

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

母公開特許公報(A) 平2-16796

®Int.Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)1月19日

H 05 K 9/00

K 7039-5E

審査請求 未請求 請求項の数 9 (全5頁)

❷発明の名称

可撓性多層回路基板及びその製造方法

②特 願 昭63-167375

❷出 願 昭63(1988)7月5日

@発明者 浜田

英明

茨城県稲敷郡茎崎町天宝喜757 日本メクトロン株式会社

南茨城工場内

勿出 願 人 日本

日本メクトロン株式会

東京都港区芝大門1丁目12番15号

社

個代 理 人 弁理士 鎌田 秋光

明細白

1.発明の名称

可撓性多層回路基板及びその製造法

- 2.特許請求の範囲
- (2) 可換性両面導電箔張積層板の両面にそれぞれ 一定のパターンで相互の配設位置を異ならせて 各別に形成したアースパターンと電源パターン

- (3) 前記内層配線部に形成したアースパターン及び電源パターンが網目状ないしは格子状である 請求項(1) 又は(2) の可捷性多層回路基板。
- (4) 可換性両面導電箔張積層板の一方の面に一定のパターンで形成したアースパターンを有する機準化内層配線部を具備し、該アースパターン形成面側にベース部材偶を接合した可換性が調電箔張積層板を備えるように構成した標準化可換性多層導電箔張積層板。

- (5) 可挽性両面導電箔張積層板の両面にそれぞれ 一定のバターンで相互の配設位置を異パターン 各別に形成したアースパターンと電源パターン とを有する標準化内層配線部を具備し、上記で ースパターン及び該常別の各形成可能 にそれぞれベース部材側を接合した各々の可挽 性片面導電箔張積層板を備えるように構成した 標準化可換性多層導電箔張積層板。
- (6) 前記内層配線部に形成したアースパターン及び電源パターンが網目状ないしは格子状である 請求項(4) 又は(5) の標準化可捷性多層導電箔 張積層板。
- (7) 可換性両面導電箔張積層板の一方の面にあるアースパターンを備えるアースパターンを備えるアースパターンを構造を形成すると共に落まった標準化内層配線に可換性片面 製作した 張 間を接合して予め 製作した 保 間 で で で で で で で で で で で で で で で の 信 学 パターンと 電源 パターンと 電 源 パターンと 電 源 の に 所 要 の 信 号 パターンと 電 源 パターンと

ンと該信号パターンの間並びに上下の該信号パターンの間に於ける各所要部位に形成する相互接続の為のスルーホール導通処理を施すことを特徴とする可換性多層回路基板の製造法。

- (9) 前記標準化内層配線部のアースバターン及び電源バターンを網目状ないしは格子状にエッチング形成する請求項(7) 又は(8) の可撓性多層回路基板の製造法。
- 3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

各別にエッチング形成して外層配線部を形成した後、上記内層配線部及び該外層配線部に於いて上記アースパターンと該倡号パターンの間及び上記電源パターンと該信号パターンの間に於ける各所要部位に形成する相互接続の為のスルーホール導通処理を施すことを特徴とする可提性多層回路基板の製造法。

「従来技術とその問題点」

このような可挽性多層回路基板を製作する場合、 従来は、片面又は両面鍋張積層板等の可換性導電 箔張積層板に対して仕様毎にアースパターン又は 該アースパターンと電源パターンとからなる内層 の配線パターンニング処理を施す工程から出発し、 次いて、内層配線部に接合した他の可接性導電箔 張積層板に対して更に仕様に応じた所要の信号バターン等を順次形成して外層配線部を構成した上、内層配線部と外層配線部との両者の所要部位に対してスルーホール導通等の導通化処理を施すことにより、可挽性多層回路基板を製作するものであった。

上記の如く、製品毎に内層配線部の形成処理から出発した後、外層配線部を構成するという手法では、工程が多大となり、また、内外層の配線部の位置合せも多層化の度合に応じて非常に煩雑なものとなるので、製造能率を高めることも至難である。そして、現今の如く多品目少量製品の要望に上記のような従来手法で製造することはコスト面でも対応困難なものがある。

「発明の目的及び構成」

本発明は、この種の可換性多層回路基板の製造に伴なう上記の如き事情を考慮し、内層配線部を一定のパターンで形成した標準化可換性多層導電箱張積層板を予め用意し、仕様に応じた製品製造に際しては、直ちに外層配線部の形成処理工程か

アースパターン及び該電源パターンの各形成成面質にそれぞれペース部材側を接合した各のの名形成可換を接合の多々パース部材側を接合のの名号の名号を構造して外層配線部に於いて上記ではいるの間のと該信号パターンの間に於ける各所要部位に設けたものである。

ら出発可能な手法を採用することにより、多品目 少量製品に対しても好適に対応可能な可換性多層 回路基板及びその製造法を提供するものである。

その為に、本発明に係る可撓性多層回路基板は、 三層構造の場合には、可換性両面導電箔張積層板 の一方の面に一定のパクーンで形成したアースパ ターンを有する標準化内層配線部を具備し、該ア - スパターン形成面側にベース部材側を接合した 可撓性片面導電烙張積層板と該可撓性両面導電箔 張積層板の他の面にそれぞれ所要の倡号パターン と電源パターンとを各別に形成して外層配線部を 構成し、上記内層配線部及び該外層配線部に於い て上記アースパターンと該信号パターンの間及び 上記電源パターンと該信号パターンの間に於ける 各所要部位に設けた相互接続の為の導通部を備え るように構成したものであり、また、四層構造の 場合には、可挽性両面導電箔張積層板の両面に対 して各々一定のパターンで相互の配設位置を異な らせて各別に形成したアースパターンと電源パタ ーンとを有する標準化内層配線部を具備し、上記

ンと該信号パターンの間及び上記電源パターンと 該信号バターンの間に於ける各所要部位に形成す る相互接続の為のスルーホール導通処理を施して 製造するか、又は、可撓性両面導電箔張積層板の 両面にそれぞれ一定のバターンで相互の配設位置 を異ならせてアースアバターンと電源バターンと を各別に備えるように標準化内層配線部を形成す ると共に上記アースパターンと該電源パターンと の各形成面側にそれぞれ可換性片面導電箔張積層 板のベース部材側を各々接合することにより予め 製作した標準化可換性多層導電箔張積層板を用意 し、仕様に応じてこの標準化可撓性多層導電箔張 積層板の両面に所要の信号パターンを各別にエッ チング形成して外層配線部を形成した後、上記内 層配線部及び該外層配線部に於いて上記アースパ ターンと該信号パターンの間及び上記電源パター ンと該信号パターンの間並びに上下の該信号パタ ーンの間に於ける各所製部位に形成する相互接続 の為のスルーホール導通処理を施す手法によって、 各々容易且つ高能率に製造できる。

「実施例」

以下、図面を参照しながら本発明を更に詳述す ると、第1回及び第2回に於いて、1及び2は、 それぞれ可撓性ベース材11、31の一方の面に 銅箔等の適宜な導電箔12、32を接合した可挽 性片面導電箔張精層板であり、また、2は可換性 両面導電箔張積層板のペース材21の両面にエッ チング手段で各別に一定のパターンで電源パター ン22とアースパターン23とを形成した標準化 内層配線部であって、両可換性片面導電箔張積層 板1、3は、標準化内層配線部2の各面にそのペ - ス材 1 1 、 3 1 側を第 2 図の如く 積層接合して 内層配線部2を予め一定のパターン処理化したも のを備える標準化可換性多層導電箔張積層板とし て準備される。この積層板は、四層構造の可換性 多暦回路基板を製作する場合に使用するものであ るが、三層用では、可換性両面導電箔張積層板の 一方面に上記態様でアースパターンを形成し、そ のアースパターン形成面側に一枚の可挽性片面導 電箔張積層板を積層接合して同様な標準化可撓性

に構成可能である。なお、三層タイプの場合には、 上記と同様にスルーホールH』及びHっを容易に 設け得るものであることは明らかである。

以上の如く構成した標準化可撓性多層導電箔張 積層板を予め製作準備しておけるので、仕様に応 じた製品を製作する場合には、この状態から直ち に出発し、ガイドホールPを活用しながら、先ず、 上記の態様で所要のスルーホールH」、Hュ及び H 3 を穿設し、内層配線部2と外層配線部相互間 及び外層配線部相互間に対して要求されるスルー ホールメッキ手段で所要の相互導通接線処理を施 した後、第4図のように各外層部の導電箔に対し 仕様に応じた所要の信号パターン12A、32A をエッチング手法等の常法に従って各別に形成す ることにより、外層配線部を容易且つ迅速に構成 し、最後に打抜き等の製品形状加工を施すことが 出来る。三層用の可撓性多層回路基板では、上記 と同様に各外層部の導電箔に対して所要の信号バ ターンと電源バターンとを各別に形成して外層配 線部を構成するものであることは勿論である。

多層導電箱張積層板を準備できる。 P は両可換性 片面導電箱張積層板 1 、 3 に対し外層配線部とし て倡号パターンを形成処理する際の位置合せに用 いるガイドホールであって、例えば図の如くこれ ら積層板の四隅に貫通穴を以って形成できる。

「発明の効果」

本発明は、以上のとおり、アースバターン単独又は該アースバターン及び電源バターンの両者を各面に各別に一定のバターンで形成した内房配線部側に可挽性片面で観路を具備し、その内層配線単化可挽性多層導電箔張積層板を構成したので、この標準化可換性多層導電箔張積層板を構成したので、この標準化可換性多層導電箔張積層板は、通常の両面鋼張積層板のような準備材として予め多数低コストに製作して用意することが可能となる。

仕様に応じた製品を製作するには、この標準化可換性多層導電箔張積層板に直ちに必要なスルーホールを穿設してその外層に所要の倡号パターンを両面に又は該信号パターンと電源パターンとを各別に形成できるので、大幅な工程の簡略化を図りながら三層又は四層構造の可換性多層回路基板を高い能率で容易に製造出来る。

製品製造の際には、外層配線部のみの形成処理と内外各層間の所要導通化とを行なうので、層別毎の位置合せは不要であり、精度の良好な高密度

特開平2-16796 (5)

な可換性多層回路基板を高い品質で提供できる。 従って、多品目少量製品等にも十分な余裕を 以って対応することが出来る。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に従って四層構造の可換性多 層回路基板を構成する場合に採用される一定の 内層配線部を有する標準化可換性多層導電箔張 積層板の概念的な分解斜視構成図、

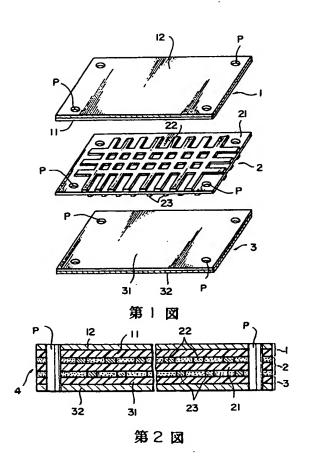
第2図はその標準化可換性多層導電箱張積層 板の概念的な断面構成図、

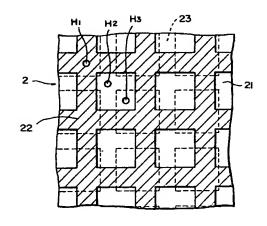
第3図は標準化内層配線部に於けるアースバターンと電源バターンの配設態様及びこの内層配線部バターンと外層配線部バターンとの相互 導通、外層配線部バターン間の相互導通を確保 する態様を各々説明する為の標準化内層配線部 の概念的な部分拡大平面構成図、そして、

第4図は仕様に応じてスルーホール導通処理 と所要の外層配線パターンニング処理を行なっ て得た四層構造の可換性多層回路基板の概念的 な断面構成図である。

1、3: 可挽性片面導電箔張積層板 2 : 標準化内層配線部 標準化多層導電箔張積層板 . 11. 31: 可提性絶様ペース材 12, 32: 2 1 : 22: 定の電源パタ 一定のアースパターン 23: 1 2 A : 3 2 A : H.~ H.: 導通用スルーホール

P: 位置合せガイドホール





第3図

